

市長) 時と場合によっては、抜本的な見直し問題や市民生活を守るためには継続ということもある。財政状況を踏まえ、適切に対応する。

星) 具体的な部分で伺う。財政フレームをみると、その他の二次経費は計画値では20億円だ。それが恒常的に30億円近くに膨らんできている。後期計画の見直しにあたっての市長の決意を聞いておきたい。

市長) 抜本的な見直しということも当然ある。覚悟して市民のご理解を得ながら進めてまいりたい。

星) 保育について伺う。待機児解消には、認可外施設も認可園同様、よきパートナーとして活用すべきと思うがどうか。

市長) 同感だ。独自の基準を設けてとの提案だが、時間を頂戴したい。子育ての社会化、社会全体としての責務であるとする意見にも同感だ。

## 市民生活と、 市の財政問題など

公明党 松長 孝

問: 国分寺市の行財政問題の状況について。地方債の未償還残高が減少している苦しい財政運営の中、次世代に負担を残さないことに関しては一定の評価をしたい。ただし、各種の基金残高は大変厳しい状況だ。財政調整基金は、1億7,000万円前後と深刻だ。市はどのような認識を持っているのか。

市: 今から真剣に検討しておく必要がある。

問: 国保財政に関しても、昨今の経済状況を考えると、大きな財政問題になる可能性がある。

市: 国保の運営協議会に諮問していく。

問: 財政の安定した財源確保というのは重要な課題だ。優良企業の誘致に努力をすべきだ。

市: 対応を慎重に進める。

問: 国分寺駅北口再開発について。本予算が昨年成立し間もないが、今回の施政方針の中で、「国分寺方式」なるものが採用される予定であるが、法律的裏付けがなく、危機感というものを感じているのか疑問だ? 再開発についての強い姿勢が、残念ながら伝わってこない。会派としても、同一意見だ。毎年、施政方針の行政改革の項目に、必ず人事考課制度の運用について触れているが、今回はたったの2行だけしか書かれていない。さらに厳格な取り組みを求める。現政権の場当たりの政策の変更により、多大な影響を市民に及ぼす可能性がある。

市長の市政に対する姿勢を問う。景気動向について。希望的な観測が記載されていたが、極めて危険な憶測である。市も昨年度、地方交付税の交付団体になっている。小・中学校のエアコン設置について。市の未来を担う小・中学生の学習環境を確保する重要施策である。早期に実現を求める。待機児童ゼロの政策は、一定の評価をする。高齢者福祉について。急速に進む高

齢化は日本全体の問題である。民間配達事業者等との施策も考慮に入れてはどうか。介護保険制度について。認知症患者は全国で今後20年間で倍増する可能性がある。認知症サポーターは、300人の目標では低いのではないか。保健・医療について。子宮頸がん予防ワクチンの助成の実施は評価をする。がん検診と両論である考え方を周知することが必要である。生活保護受給者が増加傾向である。最後のセーフティーネットをしっかりと堅持し、就労支援の具体的な支援策を求める。ごみ処理場問題について。小金井市との共同処理は、市長の政治的手腕によって、小金井市長との交渉力が問われる事業である。市長の行動を強く求める。緑の基本計画は確実に取り組むべきである。姿見の池の公有化に伴い、市民の憩いの場としてのサービスの施設の設置を求める。都市計画道路3・4・6号線、3・2・8号線のほか、市民に対しての安全確保は当然であり、財政面で東京都の支援を積極的に求めよ。地域バスについて。福祉目的の観点から、万葉ルート・北町ルートも含め、積極的に取り組みを求める。学校給食の向上について。食育の面から、一日量の3分の1を学校給食で摂るという教育の現場であり、業とも言える。自校式・直営式といったレベルを超えた次の段階の研究をしていくべきである。

議会の指摘があった基幹システムは、入札制度の変更で、億単位の削減結果が出る。これからも参考にすべきだ。アウトソーシングの基本方針に基づく取り組みについて。保育園、児童館、学童保育所、学校給食、公民館、図書館などの施設も積極的に進める必要がある。また泉町都有地に都立多摩図書館が移転すること。電子図書館の台頭による公立図書館のあり方も考える時期である。議会で指摘された図書館の種類の改善は? 公務員の人件費が及ぼす財政への影響は無視できない。更に改定を望む。

その他、市民生活等に関して質問しました。

## 厳しい財政状況 行財政改革に待ったなし!

新政クラブ 田中 政義

### 1. 現在の国分寺市の財政状況について

問) 大変厳しい状況である。余裕資金が少なく、財政の弾力性がない。各種積立金を取り崩してやりくりしていくやり方は既に限界にきているのではないかと考える。今後の新たな財政需要にはどのように対応していくつもりか?

市長) 市の財政は大変危機的な状況にあると認識している。これ以上、基金を取り崩すことはできないに等しい。行政改革の取り組みを更に強化していくことを基本に、市民の御理解を頂いていくことが大事である。新たな財政需要の規模、状況を見ながら対応を図っていくが、基金での対応は大変厳しい状況である。

問) 厳しい経済環境が続く中、多くの市民が我慢をしながら税金を払っている。行政改革は待ったなしの状況であるが、職員の個々にまでその認識が伝わっていないのではないかと? 市長はこのことについてどのように考えているか?

市長) 職員は市民の皆様の為に、皆様の立場に立って仕事をさせて頂いており、納めて頂く税金の中から給料が出ている。それぞれが抱える事業についても、最小の経費で最大の効果を上げられるよう努力してもらっている。市民の感覚からすると職員の給料水準は理解し難いものであることと、財政状況については職員一人一人が理解していることと思う。

### 2. 商工業振興策について

問) 前にも述べたが大変苦しい経済環境、商業環境が続いている。国分寺市の小売業の売上額を見ると、最近の8年間で実に87億円もの減少が見られる。そのうち、中小零細商店の減少割合は全体の70%を超えていることがわかる。市としてどのような支援策があるかお聞きしたい。

市長) 地元商工業を振興していくということは、単に営業を守るだけでなく、このまち全体の人と人との繋がりを強めていく、まちの基盤を強くしていく意味でも大事なことである。使い勝手の良い補助金の仕組みを構築し、商工会、商店会との連携を密に図ってまいりたい。

### 3. 農業振興について

問) いきいき農園の開園、J A共同直売所の建て替え支援、国分寺駅北口の産直販売所の設置等は大いに評価するものである。市の財産である農業を守ることは緑と水の保全にもつながることである。市としての取り組み、振興についてお聞きしたい。

市長) 国分寺市の農業は誇るべきものである。緑の果たす役割は様々なことに繋がり、大変重要なものである。相続税制の問題についても、都市農地保全推進自治体協議会の中で国等に対して要望をしているところである。役割について市民の皆様へ伝え、保全、発展を図っていく。

### 4. 北口再開発について

問) 市の正面玄関であり、この地域だけの問題ではなく、市の重要な事業である。市長は最も認識されていると思うが、御見解は?

市長) 40年来の課題として、様々な状況を踏まえ現在に至っている。北口地域の安全性を図り、経済活動の活性化をより促していく。追加的な財政負担をできる限り軽減し、しっかりと進めてまいりたい。

### 5. 都市計画道路について

問) 3・4・11号線は、国分寺街道の西側に予定されている計画道路である。渋滞緩和の為に安全性確保の為に、早期の完成を求める。

市長) 東京都が着実に事業に着手してくれるように、要望を強めていく。

問) 3・4・6号線は、市全体の防災面、経済面からも重要な役割が期待されている。進捗は?

市長) 東京都の支援が得られることになってきたところである。市も協力して早期に実現を図ってまいりたい。

### 議長交際費について

議長交際費は、議長等が議会を代表して団体・個人との交際に支出する経費で、主に各種団体の式典や祝賀会に出席する場合の会費や、議会関係等への弔慰金などに予算の範囲内で使われるものです。

市議会では、議長交際費の用途について明確にするため、国分寺市議会のホームページに年度ごとの支出状況を掲載しています。

庶務担当 (内467)

